

オオバコ科 クワガタソウ属

ムシクサ (虫草)

Veronica peregrina L.

自生環境

道ばた、湿地、水辺 など

原産地

日本在来

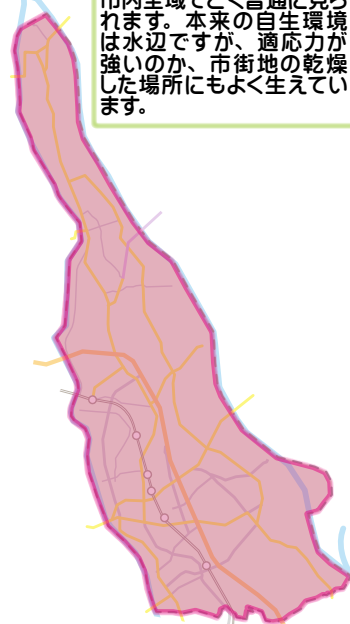
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域でごく普通に見られます。本来の自生環境は水辺ですが、適応力が強いのか、市街地の乾燥した場所にもよく生えています。



特徴

- ☆ 湿った場所に多く生える 1～越年草です。ただ、環境に適応する力が強いのか、道ばたや荒地などの乾燥した場所にもたびたび出現します。全体無毛ですが、ケムシクサという毛が多く生える品種もまれに見られます。
- ☆ 直径 2～3mm のとても小さな白い花を、葉のわきに 1 個ずつ咲かせます。花期は春ですが、陽だまりでは冬のうちらちらほらと咲くこともあります。花後にできる果実は平べったいハート形ですが、しばしば虫こぶとなって丸く大きくふくらみます。
- ☆ 果実が成熟してくると、全体が赤く色づきます。初夏に周囲の草が青々と茂ってくる頃に紅葉するため、よく目立ちます。夕ネがこぼれ落ちると株の寿命は尽き、梅雨の頃までには姿を消してしまいます。

虫を育てる草？

ムシクサには、丸く膨らんだ虫こぶ (ムシクサツボミタマフシと呼ばれます) ができやすく、これが本物の果実よりも目立ちます。ゾウムシの仲間がつぼみに産卵した結果、変形・肥大してできたもので、いわば「虫のゆりかご」です。中でふ化した幼虫は、こぶの組織を食べながら過ごし、成虫になると、穴をあけてそこから巣立っていきます。名前も、この様子からつけられました。



葉わきに
小さな
白い花を
咲かせる



ふつうは平べったい
ハート形の果実ができる



虫こぶは
ぷっくりと
ふくらんで
よく目立つ



街中のコンクリートの
すき間に生えることも



茎や葉には毛はなく、
厚みがあってみずみずしい



虫こぶの中で育った
ゾウムシの一種



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

